



紹介者

樺島 弘明

エル・ティー・エス
取締役社長CEO

高橋 知裕

HEROZ
代表取締役Co-CEO



AIトランスフォーメーション(AIX)

10数年前、私は共同創業者の林を通じて将棋AIに出会いました。その後の将棋界のAI革命の経験が、エンタメ、金融、建設などのコア業務へのAI社会実装を進めるきっかけでした。この過程で、AIがもたらすさまざまな社会変革の機会に気付くことができ、その出会いに感謝する日々です。

企業とAI活用の議論後にエンジニアからよく聞く話があります。それは、「AIをドラえもんのように何でもできると思っている…。現実に戻っていただき着実に進めよう」というものです。AIをドラえもんとみなすことは、時にはAI社会実装のハードルにもなりますが、それでもドラえもんのひみつ道具を通じてのび太が課題に向き合い、成長し、未来を発見していったように、私たちはAIをドラえもんのようなパートナーとして共に歩むことが、新たな未来創りに向けて重要だと考えています。特に最近の生成AIの登場は、ドラえもんの存在を現実にも近づける可能性を秘めているはずで

同時に、人の可能性や素晴らしさも忘れられません。棋士がAIから学びつつ、人特有の直感で驚くような手を指す様子や、子どもたちが五感を通じて自然と学び成長する姿は、AIとは異なる人の可能性を感じます。AIを通じて人や社会をあらためて見つめるようになったことは、私のAIとの出会いの中での大切な発見です。

人同士の関係が時間とともに深まるように、人と付き合うようにAIの得手不得手を理解しAIとの関係を深めることで、個々に合ったAIパートナーが誕生し好きなことややりたいことが実現できると信じています。

つまり、AIによる社会変革であるAIトランスフォーメーション(AIX)は、人×AIによる人自身の進化や価値観の変革でもあると考えています。将棋をはじめ、人の多様な才能や文化、芸術、スポーツなど、人や自然が織りなすさまざまな出会いに向き合い、尊重し合って進めると新たな道が切り拓かれていくと思います。AIを通じて新社会の扉が開いている今、その可能性を追求することが私の楽しみです。

▶▶ 次回リレートーク

川原 浩

アサヒグループ食品
取締役社長